

項目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	NO	3-1
事業名	やまがた木育推進事業		
事業費	3,246 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

1 目的

県民の豊かな緑を育む意識の醸成のためには、直接的な保全活動への支援と併せて、県民の森林等に対する理解の向上が不可欠である。このため、「森や自然の大切さを学び、森や木の文化を見つめ直し、森や自然の恵みに感謝し、自然との共生の文化を理解・共感できる豊かな心を育み、森との絆を深め、暮らしの中に木を活かしていくこと」を「やまがた木育」と定め、森からの恩恵を受けるのみではなく、一人ひとりが森と共に生きていることや、木を活かす暮らしの大切さを改めて理解し、行動を起こすことができる人づくりを目指す。

2 事業概要と実績

(1) やまがた木育推進委員会の開催

学識経験者や森林環境教育実践者などから必要なアドバイスや意見をもらう。
令和3年10月26日開催

(2) 子どもの成長に合わせたやまがた木育の推進

やまがた木育推進委員会や教育関係者の意見を参考に年齢に応じた教材の提供

① 小学校低学年向け

- ・「木製スプーンづくりキット」作成300個、配布
(配布先：各総合支庁、各県民の森等)

③ 小学校高学年向け

- ・副教材「やまがたの森林」配布10,000部（配布先：県内全ての小学5年生）
指導者用ガイドブック配布1,000部（配布先：県内全小学校指導者）
- ・ポケット版教材「森のたんけん手帳」配布5,000部
(配布先：県内小学校、森づくり活動団体等)

(3) 県民みんなでやまがた木育の推進

やまがた木育の指導者を養成するやまがた木育人材養成講座の開催

対象者：4地域の県民の森に携わる関係者

【各総合支庁担当・指定管理者・森の案内人等】

日 程：7月10日、9月4日、10月2日～3日 全4日 参加人数34名

3 成果と課題

【成果】

(1) やまがた木育推進委員会の開催

やまがた木育推進委員会では、やまがた木育を推進する上での具体的な計画（ロードマップ）の案を示し、内容について承認され完成した。個別の取組みの目標が明確になり、事業を計画的に進めることができるようになった。

(2) 子どもの成長に合わせたやまがた木育の推進

① 小学校低学年向け

木製スプーンキットを活用した「やまがた木育」の実践により、子どもが木に触れ、木で創る体験機会を提供することができた。

② 小学校高学年向け

小学校5年生の社会科での「森林」に関する授業内容を補足できるよう、山形県の森林に特化した内容の副教材として「やまがたの森林」を配布しており、授業に活用されることで身近な森林に関する学習を深めることができた。

また、「森のたんけん手帳」は県内小学校等からの要望に応じて配布し、総合的な学習の時間等に活用され、子供の森林への興味を醸成することができた。

(3) 県民みんなでやまがた木育の推進

研修対象者は、やまがた木育の理念を理解し、良質なやまがた木育プログラムを開発し、実践するための経験と知識を得ることができた。

【課題】

やまがた木育の更なる展開のため、教育現場や子育て支援施設等との連携や木育拠点施設の強化、指導者の継続的な育成が必要である。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和3年度 やまがた木育推進事業の取組事例】

やまがた木育人材養成講座の開催

令和3年7月10日（土） We b開催【講師による講義形式】

9月4日（土） We b開催【受講者作成の木育プログラムの公開指導】



講師による講義



木育プログラムの公開指導

令和3年10月2日～3日（土日）

受講者による「やまがた木育プログラム」の実践

講師による木育プログラムの実演



受講者による「やまがた木育プログラム」の実践



講師による実演

やまがた木育推進委員会の開催

○令和3年10月26日（火）山形県自治会館



やまがた木育推進委員会の様子



委員長 今村哲史 委員

やまがた緑環境税を活用した取組み
【令和3年度 やまがた木育推進事業の取組事例】

教材の提供

○木製スプーンづくりキット（小学校低学年向け）



○副教材・ガイドブック、森のたんけん手帳（小学校高学年向け）

